

平成 23 年 6 月 28 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア イクシスプロジェクトの実施に対する連邦政府および北部準州
政府からの承認（環境許認可）の取得について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のインペックス西豪州ブラウズ石油株式会社を通じて開発準備作業を進めているオーストラリア連邦西豪州沖合 WA-37-R 鉱区に位置するイクシスガス・コンデンセート田について、このたび、環境影響評価報告書（Environmental Impact Statement。同追加レポート（サプリメント）を含む）に基づくイクシスプロジェクトの実施に対する承認（環境許認可）を連邦政府および北部準州政府からそれぞれ取得しましたので、お知らせいたします。

イクシスプロジェクトの環境影響評価報告書とは、同プロジェクトの沖合処理・生産施設、海底パイプライン、および天然ガス液化（LNG）プラント建設予定地（北部準州のダーウィン）のそれぞれについて、数年に亘る環境調査を踏まえ、連邦政府および北部準州政府が共同して策定したガイドラインに従い、当社事業が周辺環境に及ぼす影響およびその対応策等をまとめたものです。昨年 4 月に両政府に対して提出されたこの報告書は、同年 7 月から 9 月に一般公開され、LNG プラントの建設予定地であるダーウィン地域を中心とした様々なステークホルダーから意見が寄せられました。当社はこれらの意見を踏まえた提案を含む追加レポート（サプリメント）を今年 4 月に連邦政府および北部準州政府へ提出していました。

当社は、周辺環境保全への配慮や地域社会の発展のための貢献をプロジェクト実施上の重要事項と認識しており、連邦政府および北部準州政府の密接なご協力のもと、周辺動植物に関する保護施策、二酸化炭素排出削減のためのサバンナ火災管理プログラムの策定、地元社会における雇用創出等を積極的に行ってまいります。

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

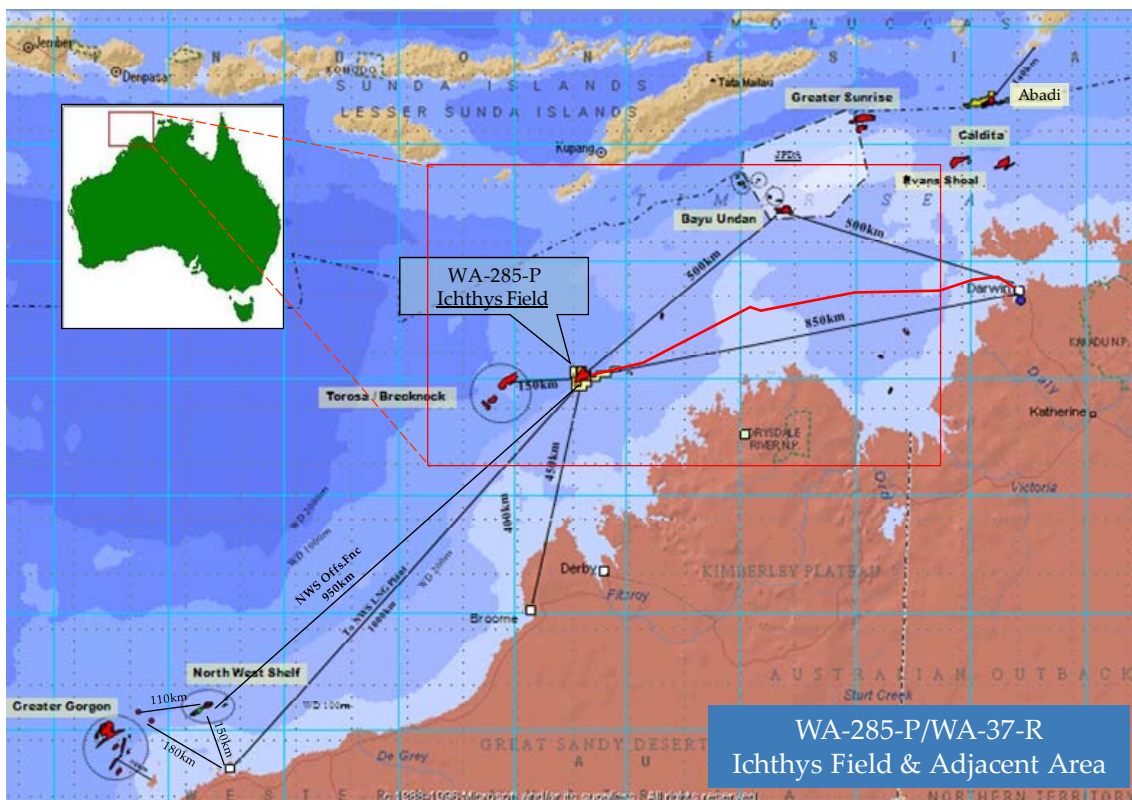
また、当社は今年 5 月に、イクシスガス・コンデンセート田から北部準州のダーウィンまで生ガスを輸送するためのおよそ 885 km に及ぶ海底パイプラインの敷設についても連邦政府から承認を得ております。

当社は、これら関係政府からの承認の取得は、今年第 4 四半期に予定しているイクシスプロジェクトの最終投資決定に向けて重大なマイルストーンと認識しており、今後も、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府をはじめとするオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、イクシスプロジェクトを予定通り立ち上げるために引き続き努力してまいります。

以上

<補足・関連情報>

- (1) イクシスプロジェクト参加権益比率 (WA-37-R 鉱区参加権益比率) :
インペックス西豪州ブラウズ石油株 76% (オペレーター)
Total E&P Australia 24%
- (2) 生産開始 (予定) :
2016 年第 4 四半期
- (3) 生産量 (予定) :
LNG 年間 840 万トン、LPG 年間約 160 万トンおよびコンデンセート日量約 10 万バレル (ピーク時)。
- (4) 環境影響評価報告書 :
環境影響評価報告書は、当社イクシスプロジェクトウェブサイト : www.inpex.com.au 、
およびオーストラリア北部準州政府 公式ウェブサイト : www.nt.gov.au/nretas にて掲載
中。



イクシスプロジェクトロケーション



イクシスプロジェクト：
オーストラリア ダーウィンにおける天然ガス液化プラント（LNG）建設イメージ図